

報告事項 才

平成20年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の概要について

平成20年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の概要について、別紙のとおり報告します

平成20年6月19日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年度第1回教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の  
概要について

家庭・地域教育課

1 日 時 平成20年5月28日(水) 13:30~15:30

2 場 所 県庁 第2庁舎 第22会議室

3 出席者 委員11名、事務局8名

4 議事及び審議等結果

(1) 鳥取県における公民館振興策(素案)について

- ・公民館振興策(素案)について協議。
- ・事務局で意見集約の上、次回分科会に最終案を提案することとした。

(2) 鳥取県教育振興基本計画について

- ・基本計画の策定にあたって、鳥取県教育の抱える課題と今後の方向性について協議。
- ・事務局で意見集約の上、次回の分科会に素案を提案することとした。

(3) その他(事務局からの連絡事項)

生涯学習分科会の今後のスケジュールを説明。

- ・今年度は計4回の開催を計画。
- ・次回の分科会は、7月下旬を予定。

<内容>

公民館振興策の決定、教育振興基本計画(素案)の検討、スポーツ振興計画の検討

5 委員からの主な意見

【鳥取県における公民館振興策(素案)について】

- ・公民館の果たす役割を示す総論(5)「地域作りの中核となる社会教育の充実」を、振興策の前面に出す方がよい。
- ・気軽に集えるという言葉だったら、コミュニティーセンターのような何でもありというように取られやすい。学びの場であるということを強調する必要がある。
- ・公民館を住民が身近に感じる環境整備という部分で、気軽に立ち寄れる公民館とは何かというところを、もう少し具体的に表記しても良い。
- ・行政の中の組織を司っているような方々、予算に関わる方々が、「公民館は本当に大事なんだ」というような認識を持っていただけるような着眼点が、公民館振興策の中に必要。
- ・公民館職員の方々は住民の声を聞きながら、これからの地域の課題を把握しながら、事業に取り組んでいただきたい。
- ・高齢者にとっても生涯学習は必ず必要。少しの声かけでやる気のある高齢者もたくさんおられるので、高齢者にも顔を向けていただきたい。

- ・高校、大学になるとどうしても地域とかけ離れる。例えば、子ども会組織と、いわゆる青年の間くらいの組織を、行政側の働きかけでつukれないか。
- ・公民館活動を充実させるためには、迎え入れるとか待つばかりでなく、発信していくということが大事。
- ・目に見える公民館という物を、もっとアピールする必要がある。
- ・公民館の本来的な役割を踏まえつつ、しかし新しいセンスもそこに取り入れるという視点が大事。

### 【鳥取県教育振興基本計画について】

- ・幼児教育を充実させていくことがとても重要。
- ・LDの子どもたちへの対応が重要な問題である。
- ・携帯電話のメールで子どもの生活時間が奪われている。有害サイトより大きな問題。メールという機能は弊害の方が強い。真剣に考え、行動すべき時期が来ている。教育委員会の力で何とかする方策はないのか。
- ・モンスターペアレンツと言われる方が増えてくるのではないかと、大変危惧している。しっかりと対策を。

### 【参考】

#### 〈委員名簿〉

氏 名	所 属・職 名 等	
浅川 滋男	鳥取環境大学環境情報学部教授	(欠)
油野 利博	鳥取大学地域学部教授	
石浦外喜義	鳥取城北高等学校教諭	
井上 耐子	鳥取県連合婦人会長	(欠)
入江 雅史	大山町教育委員会幼児教育課主幹兼社会教育主事	(欠)
梅木千賀子	鳥取県体育指導委員協議会理事	
北村 康男	青谷小学校おやじの会代表	
小谷 次雄	倉吉市成徳公民館長	
小林 重子	社団法人鳥取県老人クラブ連合会女性委員会委員	
土海 孝治	倉吉市立小鴨小学校長	
萩原 裕子	連合鳥取書記局職員	
福浜 隆宏	日本海テレビジョン放送株式会社アナウンサー	
水野 聖子	ガールスカウト日本連盟鳥取県支部長	
美田耕一郎	鳥取県子ども会育成連絡協議会副会長	(欠)
山田 節子	児童書を楽しむ会「つくしんぼ」代表	

#### 〈事務局〉

次長、教育総務課、家庭・地域教育課、文化財課、スポーツセンター